

平成28年度(2016年度)

管理事業名	市庁舎管理事業				総合計画の 体系	第8章 第4節	基本計画推進のために 計画的な行財政運営の推進			
主な歳出 予算科目	一般会計	(款)	2	総務費	(項)	1	総務管理費	(目)	1	一般管理費
部局名	総務部	予算執行所属		総務室						
予算大事業名		上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名								
市庁舎管理事業										
一般事務事業										
市庁舎サイン改修事業										
事業の目的と概要										
市庁舎管理事業は、吹田市役所本庁舎の維持補修及び管理を行っています。 目的は、吹田市役所本庁舎の秩序を維持し、来庁者や職員の財産を守り、安全を確保するとともに、公務を適正に執行するものです。										
主な業務内容は次のとおりです。 ・吹田市役所本庁舎管理業務 市政の拠点となる施設として、吹田市役所エコオフィスプランに基づき、積極的な節エネの取組を実践しています。										

I 事業の成果(実績)

指 標 名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	成 果 指 標 の 定 義
庁舎電力使用量	kwh	2,463,184	2,570,261	2,665,426	吹田市役所エコオフィスプランに基づき、前年度比1%減の使用量を成果目標とします。

成果
・照明の間引きや節電の呼びかけを実施しました。
・吹田市役所本庁舎は市政の拠点であり、非常時の防災拠点となるなど、柔軟かつ効率的な管理運営を行う必要があります。そのため、警備業務等の一部の業務の委託を実施することにより事務の効率化を図っております。
説明
・空調設備につきましては、一般に経年により能力の低下が発生することから、定期的に保守点検、オーバーホールを実施することにより効率的な熱エネルギー運用を心掛けております。

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	113,972	108,321	81,249	△27,073
経常収入 小計(a)	113,972	108,321	81,249	△27,073
給与関係費	83,376	79,799	94,738	14,938
物件費	226,294	222,618	349,244	126,626
維持補修費	15,956	23,638	23,549	△89
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	1,294	1,248	10,062	8,814
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	93,426	93,426	98,507	5,081
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	4,500	4,253	5,562	1,309
退職手当引当金繰入額	3,348	1,171	16,005	14,834
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	428,192	426,154	597,666	171,512
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△314,220	△317,832	△516,417	△198,585
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△314,220	△317,832	△516,417	△198,585
一般財源充当額	222,658	284,193	447,590	163,397
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△91,562	△33,639	△68,827	△35,188

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決 算 額 の 主 な 内 容
経常収入 (その他)	・収益事業配分金 50,118千円 (△27,601千円) ・自動販売機設置手数料 7,492千円 等 (△58千円) ・電話加入権過年度遡及登録に伴う過年度損益修正益 500千円
物件費	・委託料(警備業務等) 193,103千円 (+84,992千円) ・需用費(光熱水費等) 93,560千円 等 (△1,647千円)
維持補修費	建物等修繕に係る経費 23,549千円 (△89千円)

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	113,972	108,321	80,749	△27,573
行政サービス活動支出	336,631	337,701	487,702	150,001
行政サービス活動収支差額	△222,658	△229,380	△406,953	△177,574
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	54,814	40,637	△14,177
投資活動収支差額	-	△54,814	△40,637	14,177
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△222,658	△284,193	△447,590	△163,397
一般財源充当額	222,658	284,193	447,590	163,397
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の 主な内容	(行政サービス活動収入) 収益事業配分金 50,118千円(△27,601千円) (行政サービス活動支出) 光熱水費等の需用費 93,560千円(△1,647千円)
--------------	---

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指 標 名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
1日あたりにかかる コスト	平成26年度	366 日	1,169,924 円	1日あたり1,637,442円のコストがかかっています。
	平成27年度	365 日	1,167,545 円	
	平成28年度	365 日	1,637,442 円	
	平成26年度		円	
	平成27年度		円	
	平成28年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	4,253	5,562	1,309
流動未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	4,253	5,562	1,309
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	2,544,043	2,486,173	△57,870	その他流動負債	-	-	-
土地	1,004,532	1,004,532	-	固定負債	52,169	62,318	10,148
建物・工作物	1,539,511	1,481,641	△57,870	地方債	-	-	-
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	52,169	62,318	10,148
無形固定資産	-	500	500	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	56,422	67,879	11,457
建物・工作物	-	-	-	純資産	2,487,622	2,418,794	△68,827
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	0	0	-				
図書館資料	-	-	-	純資産の部合計	2,487,622	2,418,794	△68,827
投資その他の資産	-	-	-	負債及び純資産の部合計	2,544,043	2,486,673	△57,370
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	2,544,043	2,486,673	△57,370				

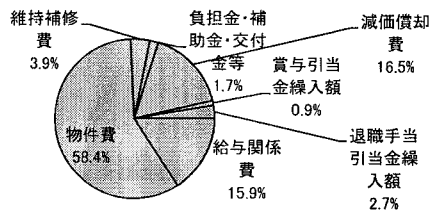
Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

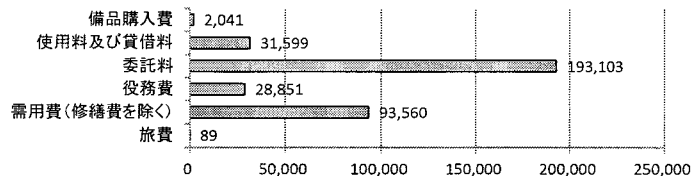
	常勤・再任用 月平均	非常勤 月平均	臨時雇用員 年間従事日数	審議会委員等 実人数
事業従事人数	8.92 人	9 人	126 日	人
給与関係費等	89,152 千円	25,845 千円	1,308 千円	千円
内、時間外勤務手当	4,039			
				合計(千円) 116,305

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	吹田市役所本庁舎 建物 減価償却による △57,870千円
無形固定資産	電話加入権過年度遡及登録に伴う過年度損益修正益 500千円



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市庁舎
取得年月日	昭和39年(1964年)4月ほか
建物・工作物の取得価額	4,581,897 千円
建物・工作物の減価償却累計額	3,100,256 千円
利用料金収入	- 千円

▽分析指標

分析指標	年度	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率		0.4	0.5	0.5	0.0
施設老朽化比率		64.8	66.1	67.7	1.6
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		66.1	72.4	84.7	12.3
経常費用対公共資産比率		9.5	9.4	13.0	3.6

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は53.9%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用の主なものにつきましては、物件費349,244千円(58.4%)、減価償却費98,507千円(16.5%)、給与関係費94,738千円(15.9%)、維持補修費23,549千円(3.9%)、退職手当引当金繰入額16,005千円(2.7%)、負担金・補助金・交付金等10,062千円(1.7%)、賞与引当金繰入額5,562千円(0.9%)となっています。物件費の内訳としては、193,103千円が警備業務等の委託料、93,560千円が光熱水費等の需用費、28,851千円が通信運搬費等の役務費、31,599千円が吹田さんくす3番館事務室等の使用料及び賃借料、2,041千円が備品購入費、89千円が旅費となっております。

減価償却により資産(建物)が減少しています。老朽化比率は67.7%で市保有施設全体の老朽化比率53.9%と比較しましたら、13.8ポイント老朽化が進行している施設です。維持補修費比率は、0.5%となっています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

吹田市役所本庁舎については、昭和39年(1964年)3月に低層棟が竣工して以来、高層棟、中層棟、仮設棟と建設されましたが、低層棟につきましては、竣工年から50年以上が経過しています。平成11年(1999年)度に約8,800万円をかけて耐震改修、平成21年(2009年)度に約3,700万円をかけて中層棟の外壁工事を実施しましたが、老朽化比率67.7%からも推察できるように、経年劣化が原因による修繕(空調設備の修繕やトイレの排水管の修繕等)が多発しております。空調設備については、計画的に保守点検、オーバーホールをできる限り実施しておりますが、厳しい財政状況が続いているため、建物躯体や他の設備の維持補修にかかる予算が十分に確保できず、オーバーホール等のメンテナンスが先延ばしにされてきた実態があります。これ以上維持補修を先延ばしにすることは、建物の躯体や機器本体まで影響を及ぼすことも考えられるため、早急な対応策をとる必要があると考えています。

自動販売機等の設置使用料等を徴収することにより歳入を確保するとともに、照明の間引きなど積極的に節エネに取り組むことにより歳出削減に努めておりますが、他市の施策も参考にしながら、施設の効率的な運営に努めてまいります。

この施設は月平均8.92人の常勤職員と9人の非常勤職員の体制と警備業務等一部の業務を委託することにより、365日管理しています。市民サービスの向上を図るには、最低でも現行の職員体制を維持していく必要があると考えておりますが、他市の庁舎も比較検証することも必要と認識しております。